

《高野幼・小が考えるキャリア教育》

- 日常の教育活動の中で「基礎的・汎用的能力」を育てる意識を高める
- 自己肯定感を高めるとともに、子どもの自主性・主体性を育てる
- 子どもたちの意欲を高め、将来の自分のための「生きる力」を身に付けさせる
- キャリア能力について、全職員が共通理解を図り自校化をすすめる

2016～2021年度
高野幼稚園・小学校経営ビジョン
(幼小一貫教育推進6か年戦略)

キャリア教育を基盤とした学校経営

～基礎的・汎用的能力の育成
を意識した教育実践～

学びの基礎力＝できる・できた喜び＝意欲
意欲の連続性＝自主性・主体性の育成

《キャリア教育の直接・間接・常時指導》

【直接指導】職業や勤労に関する内容を扱う。

【間接指導】各教科の学習を中心にキャリア能力の育成を図る

【常時指導】挨拶や清掃など、日常生活を中心にキャリア能力の育成を図る

人間関係形成・社会形成能力

- 他者の個性を理解する能力
- 他者に働きかける力
- コミュニケーションスキル
- チームワーク ○リーダーシップ

- 10の姿 ○協同性 ○道徳性芽生え
- 規範意識芽生え ○生命尊重公共心
 - いろいろな人とのかわり
 - 豊かな感性と表現

自己理解・自己管理能力

- 自己の役割 ○前向きに考える力
- 自己の動機付け○忍耐力
- ストレスマネジメント
- 主体的行動(自主性)

- 10の姿 ○健康な心と体
- 自立心 ○道徳性の芽生え
 - 生命尊重・公共心 ○規範意識芽生
 - 豊かな感性と表現

課題対応能力

- 情報の理解・選択・処理能力など
- 本質の理解力 ○原因の追究力
- 課題発見力 ○計画立案力
- 実行力 ○評価・改善力

- 10の姿 ○思考力の芽生え
- 数量・図形・文字等への関心・感覚
 - 言葉による伝え合い
 - 豊かな感性と表現○自然との関わり

キャリアプランニング能力

- 学ぶことの意義や役割の理解力
- 働くことの意義や役割の理解力
- 多様性の理解力 ○将来設計力
- 選択力 ○行動力と改善力

- 10の姿
- いろいろな人とのかわり
 - 豊かな感性と表現

キャリア能力を意識した授業づくり

- キャリア4能力の理解と指導の場の設定
 - 課題を持つ場面
 - 見通しを持つ場面
 - 自力解決の場面
 - 自分の考えをもち・立場を決める場面
 - 考えを交流させる場面
 - 学びの振り返りをする場面

※自校化したプレートを授業場面で黒板に貼ることで、教師と児童相互の意識を高める
- キャリア4能力を意識した指導方法の工夫
 - 教師のコーディネート力
 - 授業スタンダードの活用
- 言語能力を育てる場の設定と指導の工夫
 - 「話す・聞く」場面・機会
- ICT・タブレットの活用
 - 授業での積極的活用
 - 発表ツールとしての活用
 - プレゼンタイム(幼)
 - マイ自由研究発表会(小)
 - プログラミング教育への活用

未来マネジメントサイクル【RVPDCA】のスキル向上

- マネジメントサイクルスキルアップ
 - R = Research (実態把握)
 - V = Vision (目標設定)
 - P = Plan (計画)
 - D = Do (実践・実行)
 - C = Check (評価)
 - A = Action (改善)
- 具体的な活用場面
 - 二期制を活かした学び
 - ・冬休みオープンスクール
 - ・大学生ボランティア
 - ・岡ちゃん先生サイエンス教室
 - ・親子読書活動
 - マネジメントサイクル家庭学習
 - ・目的意識、課題意識を持つ
 - ・必要感をもって計画・実践
 - ・振り返り、次に活かす
 - 高野さんすう教室
 - ・目標を持った学習
 - ・基礎基本の確立
 - ・つまずきの理解
 - 生活向上スキル
 - ・健康・体力向上
 - ・基本的な生活習慣確立
- 指導者自身のスキルアップ
 - 学級経営力 ○授業改善力
 - 目標管理自己評価
 - 生徒指導力 ○体力
 - 健康管理力 ○人生設計力

幼児・児童の自主性・主体性を育む活動

- 幼稚園
 - すくすくタイムの実践
 - ・園児が遊び場や内容を自ら選び活動する時間
 - 当番活動…自分の役割を理解する・最後までやり遂げる
 - ・日直(モーニングタイム)
 - ・給食当番
- 小学校
 - 児童の主体性を育む学校行事
 - ・「がんばりカード」でキャリア能力を意識した活動にする
 - ・学校行事に主体性を育む機会と場所を明確にする
 - 児童の主体性を育む児童会
 - ・児童のアイデアを引き出す
 - ・児童に任せる・責任持たせる
 - 児童の主体性を育む学級経営
 - ・児童に任せる教師の意識
 - ・児童の力が見える掲示物
 - ・教師と児童の良好な人間関係
 - 「楽しくかしこい学級づくりプログラム」
 - ・児童の力で企画・運営
 - ・キャリア能力を総合的に発揮する

幼小一貫教育の推進【学びの基礎力の育成】

- 非認知能力を高める保育
 - がんばる心
 - ひとと関わる心
 - やってみようとする心
- 自己肯定感を高める保育
 - 関わる大人の意識・スキル
- 小学校を意識した保育の工夫
 - エンジョイタイム(動きの基礎・経験値)
 - ハッピータイム(遊びの中で学びに触れる)
 - すくすくタイム＝自主性(遊ぶ場所、内容の選択)
 - プレゼンタイム・タブレットタイム(ICTの上手な利用者)
- 保育と育児の評価の一体化
 - ・通知表「つなぐ」を通して、保育と育児の差を無くすこと。
- 学習レディネスカリキュラムの実践(学びの基礎力)
- 読書活動(アニメーション)の実践
- チャレンジ今から一年生冬休み小学校学習体験カリキュラムの実践
- 幼小一貫教育推進コーディネーターを活用し、指導の共有化を図る。

キャリア教育を意識した特別支援教育

- 通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習
 - ・障害のある子どもがそれぞれの活動場所で所属意識をもつことができるよう工夫する。
 - ・通常学級を基盤とした学校生活を送るよう工夫する。
 - ・特別支援学級は、個別指導の場所として活用する。
 - ・他学年の特別に支援が必要な児童についても保護者と相談の上、個別指導を積極的に行う。
 - ・全校の時間割を特別支援学級の事情を考慮しながら決定し、全校で見通しをもって協力体制を整備する。
- キャリア能力を身につけさせるため、客観的データをもとに保護者と連携して指導にあたる
 - ・関係機関(福島大学：子どものメンタルヘルス支援事業推進室)と連携を図り、客観的データから専門的支援内容を決定する。

《客観的データ》

 - WISC-IV 言語理解・知覚推理・ワーキングメモリー・処理速度
 - Vineland-II (ヴァインランド・ツー) 適応行動の発達水準を幅広くとらえ支援計画作成に役立つ検査

家庭・地域とともに進めるキャリア教育

- 幼稚園・学校と家庭・地域で共通理解を図る
 - 経営方針・重点事項の説明の機会を計画的に設定する
 - ・PTA全体会・総会
 - ・支部教育懇談会
 - ・保育・授業参観
 - 教育講演会
 - ・課題を共有
 - ・ともに学ぶ機会
- ともに学ぶ機会
 - 教育講演会
 - 親子アップ事業(幼)
- 学校運営協議会
 - 平成31年4月発足
 - 学校教育への参画
 - 学校養育へのサポート
 - 学校教育への具申

健康教育マネジメントサイクル Plan

- 自己理解・自己管理能力の育成
 - 生涯を通じて主体的に健康な生活を営むことができる能力や態度を育成する。
- 校内連携プログラム
 - ・保健指導、食育指導、性に関する指導、運動身体プログラム・元気タイムの充実
- 家庭連携プログラム
 - ・肥満解消、歯科保健指導